

2021. 10. 22&lt;計2枚&gt;

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

大学ではどんな研究をしているの？  
若手研究者や大学院生が研究の面白さを発信  
【衣笠ライスボールセミナー】10月・11月・12月のご案内  
テーマは「思想史」「哲学」「ゲーム」「モビリティ」

立命館大学は、研究者や大学院生が最新の研究成果を発表する「衣笠ライスボールセミナー」を、10月より計5回、「思想史」「哲学」「ゲーム」「モビリティ」をテーマに、オンライン（Zoom ウェビナー）で開催します。

「ライスボールセミナー」は、お昼の時間に若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、参加者と自由にディスカッションを楽しむセミナーです。2007年に教職員の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者育成の取り組みの一環として、年間を通して定期的に行っています。

衣笠キャンパスでは、10月から12月、「思想史」「哲学」「ゲーム」「モビリティ」などを研究する若手研究者や大学院生が、自身の研究内容や研究の面白さをわかりやすく解説します。

本テーマに興味がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力を知りたい方のご参加をお待ちしております。

記

**■ 衣笠ライスボールセミナー 10月・11月・12月概要**

(1)「朝鮮通信使と近世日本人との交流」

日 時：2021年10月28日(木) 12:20～12:50

(2)「哲学科はいかに生まれたか？philosophyから？」

日 時：2021年11月11日(木) 12:20～12:50

(3)「2021年度リサーチプロポーザルコンテスト受賞者による研究発表」

日 時：2021年11月25日(木) 12:20～12:50

(4)「ゲームから社会を考えるー韓国におけるシリアスゲーム」

日 時：2021年12月9日(木) 12:20～12:50

(5)「“モビリティ”の今とこれから」

日 時：2021年12月16日(木) 12:20～12:50

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

内 容：別紙参照

対 象：どなたでもご参加いただけます。

参 加 費：無料

参加方法：下記 URL より、参加登録のうえご参加ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=510325>

なお、びわこ・くさつキャンパス(BKC)、大阪いばらきキャンパス(OIC)は下記のとおり開催します。

B K C： <http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=476650>O I C： <http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=511727>

以上

**●取材・内容についてのお問い合わせ先**

立命館大学 衣笠リサーチオフィス TEL. 075-465-8224

## 別紙

### ■セミナー内容

#### (1)「朝鮮通信使と近世日本人との交流」

近世日朝関係は、朝鮮通信使という外交使節を基軸として、平和的關係が維持されていました。朝鮮通信使と日本人とのあいだでは様々な交流が行われていますが、今回はとりわけ学問・思想をめぐる交流を中心にお話しします。

登壇者：文学部 初任教員 松本 智也

【専門：思想史、日本史、アジア史、アフリカ史】

#### (2)「哲学科はいかに生まれたか？ philosophy から？」

「哲学科」は 1877 年に日本で初めて東京大学で設置されました。「哲学科」という名称は、“philosophy”の訳語から名付けられたのでしょうか。また、誰が名付けたのでしょうか。東京大学以前の歴史からその由来についてお話します。

登壇者：衣笠総合研究機構 助教 許 智香(ホ ジヒャン)

【専門：史学一般、哲学・倫理学、思想史、日本史、アジア史・アフリカ史】

#### (3)「2021 年度リサーチプロポーザルコンテスト受賞者による研究発表」

リサーチプロポーザルコンテストは、大学院生を対象に、自身の研究のアイデアをいかに研究計画書で魅力的に記載できるかを競うコンテストです。当日は 2021 年度の受賞者の紹介と文系・理系分野から代表者の各 1 人が発表します。

登壇者：2021 年度リサーチプロポーザルコンテスト受賞者 文系・理系分野から各 1 人

#### (4)「ゲームから社会を考える－韓国におけるシリアスゲーム」

近年世界的に広がったシリアスゲームは、教育、医療等の分野から政治キャンペーン、社会運動、観光等幅広い分野で活用されています。ゲームに影響を与えている社会背景や文化的文脈も検討する事で、その意義や可能性を明らかにできると考え進めている研究についてご紹介します。

登壇者：先端総合学術研究科 初任研究員 SHIN Juhyung(シン ジュヒョン)

【専門：地域研究、ゲーム研究】

#### (5)「“モビリティ”の今とこれから」

地方部では、自家用車を持たない住民や免許返納後の高齢者に対する“モビリティ”の確保が課題となっています。本研究では、モビリティに関連する地域課題の実態解明と、多様な主体との対話を通じて、具体的な解決策を導き出すことを試みており、その内容についてご紹介します。

登壇者：衣笠総合研究機構 専門研究員 野村 実

【専門：社会学】